

わたしたちの知床

― 夢を育み、そして未来へ ―

当時、北海道の国立公園といえば大雪山のイメージが強く、東の端つこの半島が世界遺産に登録されるなんて、夢のまた夢だったのです。

高い壁を乗り越え掴んだ夢

それでも午来さんは、羅臼町長とともに何度も環境省へ足を運び、知床の価値を伝え続けました。

「とにかく知床の価値を理解してもらうと奮闘する日々でした。例えば流水は、今でこそ知床の生物多様性の起点であると認知されていますが、昔は漁に出れない邪魔者のような扱いだったわけです。それが次第に、流水は海の恵みをもたらしてくれるものであると理解され、遺産登録への道筋が見えていったのです」

知床の豊かな生態系の起点であり象徴とも言える『流水』をキーワードに本格化した遺産登録への道。

午来さんと羅臼町長の熱意に感銘を受けた環境省の後押しもあり、ようやく国と北海道が動き始めました。

平成15年、環境省と林野庁は知床を次期推薦候補地として発表。翌年、政府がユネスコ世界遺産委員会に推薦書を提出し、遺産候補地の現地調査が開始されました。

そして、平成17年7月。ついにその

時はやってきました。

「ダーバンで開催されたユネスコの世界遺産委員会には、道知事や道議会議長、羅臼議長らとともに参加しました。21か国の委員の満場一致の拍手の瞬間は、これまで12年間苦勞してきたことや色々な皆さんに協力していただいたことを思い出し、実現できた喜びと感謝の気持ちがこみ上げ、自然と涙が溢れてきました。7月14日になると、いまだに当時の感動を思い出します」

遺産登録に要した時間は、12年。決して知名度があつたとは言えない知床を世界自然遺産へ登録する道のりは容易ではありませんでした。それでも諦めることなく取り組むことができたのは、ある人の言葉がありました。「IUCN副会長(当時)のビング・ルーカス氏から『知床は素晴らしい。]

ニュージーランドでも一人の情熱が世界遺産へと導いた。あなたも情熱をもって取り組みれば必ず成し遂げられる』と熱い激励をいただき、諦めずにやるしかないと思いました。あの時の言葉がなければ、12年間走り続けることはできなかったかもしれません」

午来さんを支え続けたルーカス氏の言葉。知床を世界自然遺産として登録することができたのはたくさんの人々の思いがあつてこそ。「登録にあたり、環境省や北海道の皆さんなどたくさんの人々に出会い、支えていただきました。そして、何よりも地元の皆さんに理解していただき、応援してもらえたからこそ成し遂げられたのだと思います。人と人との繋がりが、知床を思う人々の絆が、知床を世界自然遺産へと導いたのです」

託された思いを未来へ

知床を思う気持ちは誰にも負けないという強い信念を胸に、地元の皆さんの負託に答え続けてきた午来さん。何がここまで午来さんを突き動かしてきたのでしょうか。

「100平方メートル運動を始めてくれた藤谷元町長、100平方メートル運動を通じて夢を託してくれた全国の皆さん、開拓地を手放し離れなければなら

平成17年7月14日、知床は世界自然遺産に登録されました。平成5年から登録に向けて動いてきた斜里町にとって、悲願の瞬間でした。

そして今年、世界自然遺産・知床が誕生して20年の節目を迎えます。

この記念すべき年に、改めて町民みんなで知床の価値について考え、次世代へ繋いでいくために、広報しゃりでは過去・現在・未来の3つの視点から関係する皆さんにお話を伺います。

第1回は、世界自然遺産登録当時、斜里町長として南アフリカのダーバンで世界自然遺産登録の瞬間を見届けた午来昌さん。

午来さんは様々な自然環境活動の最前線として活動してきた後、町議会議員になりました。そして、町長に就任してからは遺産登録に並々ならぬ情熱を注ぎました。

「平成5年に屋久島や白神山地が世界自然遺産に登録された時、なぜ北海道が手を上げなかったのか残念な気持ちでいっぱいでした。すぐに羅臼町長とともに北海道等へ要望書を提出しに行きましたが、関心は薄く、知床の価値について全く認知されていないのが現実でした」

「世界の宝」となった知床

そして今度は、午来さんを初めてする知床を守り育ててきた人たちの思いを、私たちが受け継いでいく番です。

「これからの斜里町をつくるのは、若い世代の皆さんです。知床の豊かな自然を守り育て、原生の森に戻すためにはあと何百年かかるか分かりませんが、これまで知床に思いを寄せ、様々な形で託していただいた皆さんの熱い思いを失いたくはありません。町民の皆さんには、斜里町の基本理念『みどりと人間の調和を求めて』を胸に、新しいことに果敢に挑戦し、夢に向かって取り組んでいってほしいですね」



▲ダーバン国際会議場前に立つ午来町長と北海道知事 (2005年8月号広報しゃり掲載)



元斜里町長・名誉町民

ごらい さかえ
午来 昌 さん

知床国立公園指定 60 周年
知床世界自然遺産登録 20 周年記念事業

イベント Information



5/6^祝
6/5^木

大阪・関西万博

大阪・関西万博会場テーマウィークスタジオで「多様な主体の参加促進と協働」をテーマに知床地域代表として公益財団法人知床財団職員がステージトークを行います。

大阪・関西万博会場シャインハット等で国内の世界自然遺産登録地域(5地域)の知床として、ステージトークや地域ごとの展示(パネル・展示品等)等を行います。

6/14^土

親子向け自然ふれあいイベント(名称未確定)

幼少期の自然との触れ合いが、成長していく時にどんな影響を与えるか学び、自然との触れ合いを実践するイベントです。 実施場所:斜里町立図書館、知床自然センター

[主催]しれとこ100㎡運動推進本部・斜里町

6/21^土

ポケモンピカピカ団in知床(斜里町)

ピカチュウになりきって「ゴミ拾い活動」を行います。 実施場所:以久科原生花園前海岸

[主催]一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団

6/22^日

観覧者募集! 赤羽気象予報士のお天気ワンポイント!トーク in知床

NHKの夕方ニュース「ほっとニュース道北オホーツク」で天気予報を担当する赤羽祐介気象予報士が、知床の気象、防災、道北・オホーツクの天気について分かりやすくお伝えします。

▼時 間 【開演】10:30~ (〈開場〉10:00 〈終演予定〉11:40)

▼場 所 知床自然センター

▼申 込 事前申込制・右記HPよりお申込ください。(5月31日23:59締切)

▼観覧料 無料



図 NHK 北見放送局 ☎ 0157-23-4181

[主催]NHK北見放送局・斜里町・知床財団

8/31^日

知床世界遺産登録20周年記念シンポジウム

世界自然遺産に因んだ講演会・地元住民等を交えてのパネルディスカッションを行います。

実施場所:ゆめホール知床(予定)

[主催]環境省・林野庁・北海道・斜里町・羅臼町

9/6^土-7^日

SHIRETOKO Adventure Festival 2025

ゴールドウイン・Snow Peak・羅臼町・環境省・知床財団・斜里町とがコラボレーションした特別イベント 知床がもつ魅力の発信や知床のこれからを考える機会として、アウトドアの魅力がたっぷり詰まった楽しくて学びのあるイベントです。

[主催]SHIRETOKO Adventure Festival実行委員会

10/11^土-12^日

2025 サステナブルフェス

知床自然センター他でアクティビティ・映画祭・子ども向けコンテンツ・植樹等を実施予定です。

[主催]サステナブルフェス実行委員会